

健康のかけはし

大田病院の「理念」

私たちの病院は

- ①だれでも安心してかかれる病院
 - ②心の通いあう、あたたかい病院
 - ③地域の人々と共に歩む病院
- であることをめざします。

No.91
2026年 4月吉日

大田病院

〒143-0012 東京都大田区大森東4-4-14
☎ 03-3762-8421 発行責任者 杉山 耕佑

大田病院は基幹型
臨床研修病院です

うららかな春の光が降り注ぐ季節となりました。地域の皆様におかれましては日頃より当院への医療活動に対し温かいご支援とご協力を賜り、心より感謝を申し上げます。この希望に満ちた季節、本年度も新たに23名（医師2名、薬剤師1名、看護師14名、理学療法士3名、介護福祉士1名、事務2名）の新入職員が仲間として加わりました。情熱に満ちた若々しい力が加わることで、病院全体に新しい風が吹き抜けております。

現在、我が国の医療を取り巻く環境は「地域医療構想」に基づき大きな転換期を迎えております。各医療機関がその役割を明確にし、質の高い医療提供体制を構築することが求められています。2024年度より当院では、高齢者救急を中心とした地域包括医療病棟を設け、地域からの入院ニーズに応えられるよう多職種と連携しながら邁進しております。超高齢化社会においても「誰もが住み慣れた地



域で、安心して暮らし続けられる」ための一番身近な伴走者として、また病院から在宅まで切れ目のない医療を提供できる役割を一層強化してまいります。

こうした社会情勢が目まぐるしく変化する時代ではありますが、大田病院は常にこの地域の皆様と共に歩み、医療・福祉を守り創りあげてきた80年の歴史があります。開設以来、差額ベッド代は一切頂かず、無料定額診療事業も行いながら「誰もが安心してかかれる病院」の理念を実現

しています。更に東京ルールの幹事病院として区南部地域の救急を積極的に受け入れています。地域と共に創り上げてきた歴史を守りながら、新体制となった職員一同、地域の皆様の健康を守る拠り所として、医療活動を実践していきたいと思えます。本年度も温かなご支援を賜りますようお願い申し上げます。

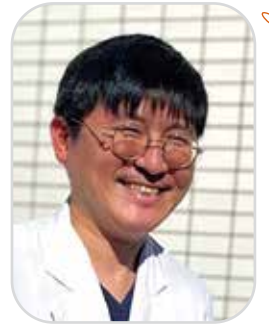
地域連携講座を行いました

2026年2月27日（金）大田病院で地域健康講座「高血圧の新常識2025」を開催しました。地域健康講座は地域住民の皆様の健康増進・疾病予防を目的に大田病院地域連携室が主催・開催している講座です。コロナ禍以降はホームページ上での講座になっていましたが、今回6年ぶりの院内開催でした。当日は暖かい気候もあって、20名の方に参加して頂きました。循環器内科佐久間医師の講義の後、質疑応答でも活発な発言がありました。最後はリハビリ課によるストレッチ体操を皆で行いました。参加者の方からは終わってから「次回はいつ？」等のうれしい言葉を頂き、アンケートでも「早めに講座を受けたかったです、血圧が体にとって大切なことを改めて知りました」「高血圧で治療していますが先生にもっとお話を聞きたいと思いました」等の感想も頂きました。今後も年に2回程度開催していく予定ですので是非ご参加ください。



地域連携室

先日開催した講演会「高血圧治療の新常識2025」の内容を、当日お越しいただけなかった皆様にもお届けします。これからの血圧管理で大切になる「新常識」をぜひご確認ください



1. 家庭血圧の目標は「125/75」未満へ

診察室での測定よりも、リラックスした状態で測る「家庭血圧」を重視します。脳卒中や心不全のリスクを下げるため、年齢によらずすべての人で家庭での目標値は従来の135/85から125/75mmHg未満へと、より厳格に設定されるようになりました。

2. 塩分を追い出す鍵「ナトカリ比」

減塩（ナトリウムを減らす）に加えて、最近では「ナトカリ比（ナトリウム/カリウム比）」を意識することが推奨されています。カリウムには体内の余分な塩分を排出する働きがあるため、野菜や果物、大豆製品を積極的に摂り、体内のバランスを整えることが大切です。

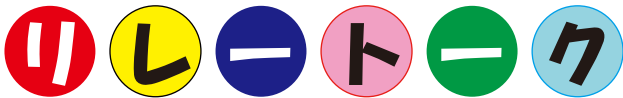
3. 【重要】カリウム摂取の注意点

カリウムは血圧に良い影響を与えますが、「主治医からや健診で腎機能低下を指摘されている方」は注意が必要です。腎臓の機能が十分でない場合、カリウムを摂りすぎると血液中の濃度が高くなりすぎる「高カリウム血症」を招く恐れがあります。自己判断で過剰に摂取せず、必ずご相談ください。

4. スマホで治す「治療アプリ」の登場

新しい選択肢として、スマートフォンを活用した「高血圧治療補助アプリ」が登場しています。これは日々の血圧や生活習慣を入力することで、あなたに最適な改善アドバイスをリアルタイムで届けてくれるものです。薬だけでなく、正しい習慣を身につける強力な味方になります。

「自分はこれくらい大丈夫」と思わず、まずは朝晩の測定から始めてみませんか？家庭血圧をもって受診いただければ、お一人ずつの状態に合わせた最適な管理方法をご提案いたします。



放射線科課長
高橋 厚

放射線科の高橋厚です。自分が診療放射線技師として入職したのが1995年なのですが、気が付けば今年には2026年、あ一月日の流れは早いものだなあと…。

さて、当院の放射線科は規模が大きいとは言えませんが、救急に対応するため、宿直をやっており、24時間365日レントゲン検査に対応できるように、日々みんなで頑張っています。主な業務としては、大田病院と大森中診療所で、一般撮影、CT、MR、TV検査など放射線技師業務全般を、みんなで持ち回りでやっています。患者さんのために、より良い検査を実施するため、職場全員で考えたり、知識を共有したりして、日々技術向上に努めています。放射線を扱う特殊な業務なので、これからも、検査に対し安全に行えるよう細心の注意を払うことと、不安や疑問などあれば、それに答えられるようにと思っています。検査や画像に関して、何かあればいつでも放射線科へ。

今回は検査科課長、久保有紀さんです。

通所リハビリ作品展

利用者さんの作品です。
院内に飾っていますので見に来てください

